

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」に向けて

学校教育目標「よく考える子・心豊かな子・たくましい子」
重点目標「学び合い・あいさつ・挑戦」

豊かな人間性（思いやり）

- ・進んで相手に届く挨拶
- ・お互いの違いを認め合う
- ・互いに高め合う学級づくり

健康・体力（挑戦）

- ・基本的生活習慣の確立
- ・外遊びの推奨
- ・運動を通じた体力の向上

資質・能力の育成（学び合い）

石垣小学校の「石垣学」（資質・能力の育成）

「石垣学」とは、各教科・領域における既有的知識を生かした課題設定や学んだことを身近にある事象に活用したり、探究したりする学習の総称

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・既習事項や体験を活かした学び
- ・協働的に学び、友だちの考えに耳を傾ける
- ・人間関係力の育成・学力の向上
- ・学んだことや身につけた技能を身近なことに活かすことができる

何が身についたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・協働的な学びの中で、考えを深め広げる
- ・自ら学ぶ力を身につける
- ・身近なところに問いを見つける

学びに向かう力、人間性等

- ・知的好奇心を持った主体的な学習者
- ・持続可能な社会の担い手になる
- ・失敗を恐れずに挑戦する意欲
- ・郷土への愛着や誇りを持っている

子供の実態（弱み）

- ・人前で自分の考えを話すのが苦手。
- ・思考力、判断力、表現力に課題がある。
- ・身に付けた知識や技能を活用したり、探究したりする機会が少ない。
- ・多様な人とコミュニケーションする機会が少ない。

目指す子供の姿

- ・主体的・対話的に学び合う子
- ・感性豊かで、思いやりの心・感謝する心をもつ子
- ・健康安全を意識し、楽しく運動できる子
- ・地域や学校に誇りをもつ子

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 誰も取り残さないきめ細かな指導
- ・それぞれの課題、個に応じた指導
- ・特別支援教育と多様性の視点を全員が持つ
- ・「教えてほめる」指導 ・多様なインプット
- ・わかりやすい指示 ・「できる」ためのステップ

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・教科としての見方・考え方を意識した授業づくり
- ・対話的・協働的に学び合う授業の推進
- ・系統性を見直し、教科横断的な学習

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・主体的に問題解決に臨むため、協働的に学んだり、既習事項や体験とつなげて考えたりする。
- ・必然性のある課題設定（子どもファーストの授業）

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- デジタルアーカイブによる学習成果の蓄積・活用・探究
- 児童一人一人のアウトプットの機会を保障
- 他校とのオンライン交流・学習（相手意識を持って学習を進め、多様な人とのコミュニケーションの機会を設ける）
- 保護者・地域への発信（学校便り、ブログ、パネル展示）
- 学校研究課題に向けての校内研修の充実
- 外部講師や視察等、多様な知恵を取り入れる
- 体験活動の充実
- 働き方改革で生き生きと働ける職場作り

安心・安全を守る

- ・校舎内外の安全対策
- ・安全教育と防災教育
- いじめの未然防止、早期発見
- ・自分の命は自分で守る子どもの育成
- ・多様性を尊重し、安心して過ごせる学校づくり

開かれた学校作り

- ・地域の人に協力してもらえる授業づくり
- ・地域を教材とした授業づくり
- ・情報発信